

第5回遺伝子治療シンポジウム

“遺伝子医薬品の実用化に向けて”～開発状況とその戦略～

主 催：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議

後 援：近畿経済産業局、日本遺伝子治療学会

遺伝子治療は 00 年のフランスでの有害事象の発生 -SCID 遺伝子治療における白血病の誘発 以来、その是非についての議論が世界中で巻き起こり、その進捗に を差されたかのような印象があります。しかし一方、中国では初めての遺伝子医薬品 p53 搭載のアデノウイルスベクター も開発され、世界的にも PhaseⅢに至った臨床試験件数が 加しています。遺伝子治療研究自体は着実に進 しているのです。その成果を実用化するための体制の構築が急務であります。折しも我が国では、臨床への橋渡し研究についての施策が高い評価を受けて進められることになりました。そのような状況を踏まえ、今回のシンポジウムでは遺伝子医薬品の実現に不可欠な産学連携の取り組みの現状について紹介させていただきます。また、日本の遺伝子治療の推進に大きな貢献をされてきた浅野茂隆先生に基調講 をお願いしております。遺伝子治療の将来の可能性・方向性について熱い議論をお願いいたします。

このシンポジウムが我が国における遺伝子医薬品の実用化に貢献することを祈念致します。

日 時：平成 9年 月 日 金 3：00－ : 00

場 所：千里阪急ホテル F 仙壽の間

豊中市新千里東町 2-1-D-1 TEL:06-6872-2211

参加費：無 料

問い合わせ：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議 遠山、井上、大嶋

TEL：06-6459-6795 FAX：06-6447-7011

E-mail：moshima@kinkibio.com